

## 今後のE P A交渉、広域経済連携の可能性国・地域に関する調査研究

### (報告書の概要)

我が国の中南米諸国との経済連携協定に係る現状は、既に締結済のメキシコ、チリに2010年11月に交渉完了に至ったペルーを加えた3カ国に留まる。他方、隣国の韓国は、我が国が締結済・交渉中の3カ国に加えて、メルコスールとの間で交渉可能性を議論する為の共同協議対の設置を進めるなど、我が国に先んじて、当該地域との関係強化を進めている。今後、経済成長の著しいブラジルを含む中南米最大の市場のメルコスールにおける日本企業の競争力強化や、資源の安定供給の確保という観点から、隣国に遅れをとることなく、メルコスールとの経済連携協定の可能性を検討する必要性に迫られている。

こうした背景をうけ、本調査では、今後の交渉可能性の検討にあたっての一助とすべく、メルコスールのF T A / E P Aの取組状況、各国の貿易・産業実態及びそれらに関連する政策、交渉入りした際に想定される論点等を整理した。

本報告書の構成と要約は以下のとおりである。

6つの章から成る本報告書において、その方法論は、量的および定性的情報の収集及び分析に基づく。最初の4つの章では、メルコスールの法的枠組みを構成する条約や協定及びこれまでの貿易の発展具合を示す貿易統計等の分析に焦点を当てている。第5および第6章については、ブラジルの通商政策の決定にあたり影響を及ぼし得る官民双方のキーパーソンへのインタビュー結果の分析を中心に構成される。

### (報告書の主要構成)

- (1) メルコスールの法的枠組みに関連した条約や協定（対外共通関税、原産地規則、紛争解決、セーフガード条項など）の内容を明らかにしつつ、メルコスールや加盟国内の各関係機関の構造、メルコスールへのベネズエラの加盟問題及びメルコスールの統合モデルにおける特異な点や例外的な措置についても評価した。
- (2) メルコスール内の意思決定プロセスが、第三国と国際協定の交渉をした場合に、どのように影響し得るかを理解するための情報を提供した。メルコスール各国がどのような調整手順で交渉の姿勢を決定しているのか、また各国の政府機関の機能を知る事は、メルコスールの関心事項に対応しながら交渉を纏める上では非常に重要と言える。
- (3) メルコスールと第三国との間で既に発効している貿易に関する協定を分析することで、将来の交渉時に想定される論点、貿易自由化のレベル、関税撤廃期間に加えて、特定のメルコスール加盟国内において存在し得るセンシティブ品目や除外品目に関する情報を供した。
- (4) 前章での情報及び貿易統計に基づき、既にメルコスールが第三国と締約済の貿易に関する協定によって獲得されたであろう利点を検討した。ここでは、協定の双方の締約国について貿易関係がどのように発展したか、また、どのような個別セクターが貿

易自由化による恩恵をうけたか、或いは被害を被ったかを評価した。

これにより、我が国と経済連携協定を締結する事を想定した場合におけるメルコスール内の各産業界の立場をある程度予見する事が可能となった。

- (5) ブラジル政府と民間部門の双方におけるキーマン或いは利害関係者とのインタビューの結果を纏めた。インタビュー相手の政府機関関係者や企業代表者の人選に際しては、我が国とメルコスール間の貿易による補完関係のみならず、両国で競合する可能性の有る領域について貿易統計及び定性分析を用いながら考慮した。インタビュー相手の優先順位については、先ずブラジルの政府関係者及び財界関係者、次にアルゼンチンの関係者として、パラグアイ及びウルグアイ両国の関係者については意図的に除外している。また、インタビュー内容は、我が国がメルコスールとEPA交渉を開始する事を想定した時の、我が国とブラジルとの利害に関し、すべての項目をカバーするよう努めた。

またこのでは、現在の我が国とブラジルの貿易構造に基づき、ブラジル政府及び財界の主要な利害関係者と共に我が国とブラジルの経済連携協定締結の実現可能性の正当性を立証する事を目指した。加えて、戦略的分野への投資、技術革新や技術協力等、商業的關係よりも広い意味での非伝統的な分野について、それらが関税自由化交渉においてトレードオフとして用い得るかを検討した。

- (6) この最終章では、南米地域における経済統合の深化など域内の利益に関連するテーマ及び戦略的パートナーとなり得る国や地域との貿易に関する協定のネットワークの拡大といった域外との関係等、現在、メルコスールが抱える主要な課題に触れた。ここで、第三国・地域との貿易や投資協定の交渉に関し、我が国とブラジル間の貿易構造と類似しており、且つブラジルにおける韓国製品や韓国による投資のプレゼンスが拡大している事を考慮し、ブラジルと韓国の二国間関係に特に重点をおいた。

このレポートの最後の部分では、我が国がブラジルやその他のメルコスール加盟国に対し如何様にアプローチすべきかにかかる戦略の構築を支援する事を目的として、前章までの検討や分析を基に結論を導き、どの様な政治プロセスを踏むかに依るところが大きいものの、我が国がメルコスールとの経済連携協定の交渉の立ち上げを成功させる為の推奨事項を論じた。